

★川ごみ調査シート(記入済)

よみがえれ、大栗川を楽しむ会

分類項目		数量	備考
■ 容器・包装ごみ			
飲料	○飲料缶(アルミ、スチール)	38	
	○ビン	2	&[かけら・破片]2
	○ペットボトル	35	
	○ペットボトルのキャップのみ	16	
袋	○レジ袋	67	&[かけら・破片]多数
	○プラ袋(レジ袋以外、菓子袋も含め)すべて	399	&[かけら・破片]多数
その他	○飲食系プラ容器(弁当・トレイ・飲料カップなど)すべて	49	&「スプーン」2
	○紙パック・トロ箱、その他の容器包装	58	「紙パック」14、「紙袋」3、「紙コップ」4、「葉シート(PTP包装シート)」17、「ダンボール箱」8、「発泡スチロール(破片)」8、「アイス棒」3、「やきとり棒」1
	○混在ごみ(複数の容器・包装類をレジ袋等に詰め込んだ不法投棄ごみ)	4	
■ 産業系ごみ			
○土のう袋・フレコンバッグ		10	「土のう袋(破片含む)」9、「フレコンバッグ(破片)」1
○ブルーシート・農業用マルチシート		1	「ブルーシート」
○鉄パイプ、産業系金属類		14	「鉄パイプ」(60cmx3、1.5mx1)、「鉄筋」(50cmx5)、「コーキングガン」1、「鉄筋コンクリート(15cm角)」1、「釘」1、「鉄棒」2
○その他			
■ 製品ごみ			
○タバコの吸い殻		180	&「箱」9、「ライター」2、「DUUG(デュグ)(使い捨て電子タバコ)」1
○おもちゃ・靴・CD/DVD・ボールなど		9	「テニスボールなど」7、「靴の中敷き」1、「飛行機おもちゃ」1、
○衣類・オムツ・マスク・手袋など		36	「マスク」31、「手袋(ゴム製含む)」3、「パンツ」1、「体操服(上)」1
○ビニール傘(普通の傘、傘部品含む)		2	「傘の覆い部分」1、「傘袋」1
○金属製品		16	「針金」2、「ドーナツ型の金属」1、「小型携帯扇風機」1、「ハンガー」1、「自転車のベル」1、「ホットサンドメーカー」1、「金属棒(30cm)」1、「剃刀」1、「アルミ箱」1、「金属ネジ」1、「鍵」1、「ピアス」1、「ブローチ」1、「キーホルダー」2、
○その他		25	「敷物(破片)」2、「陶器(破片)」2、「プラスチック棒」2、「プラ波板(破片)」2、「急須の蓋」1、「横断旗」1、「ゴムチューブ」1、「つっぱり棒」2、「乾電池」2、「メガネ」1、「携帯シート」1、「クレジットカード」1、「プラ物差し」1、「保冷剤」1、「カイロ」1、「プラバケツ」1、「ガスボンベ」3 &「雑多なごみ多数」
■ 粗大ごみ(不法投棄)			
○自転車・バイク・家具・その他		2	半透明の大袋に衣類など

◆調査年月日:2022年8月7日(日)

◆調査エリア:霞ヶ関橋~新大栗橋(全長:約550m)

◆参加人数:33名(うち子ども1名)

◆可燃系:7袋(450袋) / 不燃系:4袋(450袋)

◆特記事項:2ページ目を参照

暑さが厳しくなりそうな中、通常の清掃時間を30分早めて、9:30より清掃をスタート。この日は、中央大学の学生さん7名やSDGsを学びたいと市外から中学生も参加してくれ、その他にも初参加の方もいて総勢33名での清掃活動となりました。

先月に続き、暑さ対策として、テントの設置、水・イオンウォーター・塩飴の準備や、首や脇などを冷やせるよう氷や凍ったペットボトルなどを用意して臨みました。テント内で休む方も出ましたが、準備が功を奏し、大事に至らずでよかったです。

「中央大学、多摩市、よみがえれ大栗川を楽しむ会」は、今年2月より、マイクロプラスチックの問題を通して、連携した活動を試みています。

中央大学の学生さんは、この日の午後に小中学生を対象にしたマイクロプラスチックのワークショップを企画されていて、イベントの直前にも関わらず、互いの活動に参加して理解を深めようと、清掃活動に参加してくれました。初めてごみの清掃というフィールドワークに参加した学生さんが多く、プラスチックごみの多いことに驚かれていました。

またこの日は、新大栗橋から上流に金属ごみが特段多いことが長年問題になっていた件で、集めた金属ごみを写真に撮り、多摩市に確認してもらう作業も行いました。錆びた大きな金属がこの日もみつきり、早く解決に結びつくといいと感じました。

午後はエール交換で、当会が関・一つむぎ館で行なわれた中央大学のワークショップ「作って、学ぼう！マイクロプラスチックのこと」に参加。子どもたちにマイクロプラスチックのことを教える手法を学ばせてもらいました。

市民活動、自治体、学生・研究者による「市民協働」の取り組みを、今後も継続していこうと確認した1日でした。